

シェアにのみや意見交換会質疑応答記録

記録作成：総務建設経済常任委員会

- 開催日時：平成30年2月9日（金）14時00分～15時45分
- 開催場所：町民センター2 Aクラブ室
- テーマ：「公園のあり方」 ～二宮町公園統廃合計画(案)について～
- 参加者：11名
- 主催者側：議員（13名）、議会事務局（2名）
- 次第：
 - ①挨拶（二見議長）
 - ②公園統廃合計画全体説明（野地委員長）
 - ③廃止予定公園個別説明（杉崎委員、柳川委員）
 - ④質疑・意見交換
 - ⑤まとめ

【意見交換内容】

参加者：広場を借りるときは 町に届けですか。

議員：広場は自由に使える。イベントで火を使うときなどは従来通り町に届け出が必要。

参加者：古墳公園の近くの空き地の話、15.6年前の緑が丘の建設中の話、三角形団地に大きな電線の廃材委などが捨てられて前に住んでいるので大変困っていた。紆余曲折あったが役場のものであると認めさせた。自動車の廃油も残っているなど危ない。生活しているものは困る。役場、警察に相談。役場助役に、自分が費用持つから整理させてくださいと相談。コンクリートなどの残骸があったが取って、その土地に、赤玉もいれたりして、ロウバイ3本など、木をうえて今に至る。車を無造作に置くなど争いがあり、杭なども打った。地域に任せるとまた、争いが起こるなど心配している。今後も今のままのきれいなのを維持したい、木を植えたのも維持したい。現在は雑草が生えていて、役場に3回ほど雑草除去をお願いしている。

議員：古墳公園の近くの空き地でよいですか。今は緑地になっている場所ですか。

公園緑地班の管轄になるので町に伝えます。今の緑地緑道とこれからの緑地緑道の管理に違いがあるのか町に確認します。

参加者：地域に管理を任せるのは、この草刈りは入っているのか。今後も地域に任せると草刈りは、どうなるのか心配している。今までの管理は、私が町に3回伝えているが、どうなるのか。

議員：今は元気でできているが、この先の管理を心配しているということではないか。

議員：今後の交渉の中で、決まってくる。愛護会もある。できないときは、従来通り町が行う。

参加者：管理という言葉に吟味してほしい。月に一回巡回しても言わないと草刈りしない、草刈りを含めて管理を地域に任せるといったことなのか。

議員：草刈りも地域や団体に任せるといったことに含まれます。

参加者：一色再生協議会にテーマの中に公園の話があります。こういう動きは大歓迎。住民も動きながら行うのは大賛成。管理は地域や団体をお願いしたいとは、残す公園か廃止の公園か、地域の地元管理は大事で、管理の対象はどこからどこまでか。中身を教えて欲しい。

議員：都市公園は別になり、児童遊園地、広場、廃止に伴う一体管理は、団体や地元で管理して欲しいということだが、まだ文章化されていない。ゴミ拾いや草刈りは愛護会も含めて地元でお願いしたい。ただ、大きな木を切ったり、ゴミの回収は町がします。A・B・Cなどそれぞれの公園で変わってきます。こういう条件でできる、できないなど状況が出てくるかもしれません。一律にまだ出ていません。

参加者：公園について、管理、委託は極めて大事な話。地域ができること。

公園愛護会や住民の団体をもっと活用すると良い、参加する人の健康にもよく、コミュニティの活性化にもなるが、これに誘導するような促進する見返りとかあるとよい。住民がやる気を起こす管理の中身が大事。管理と委託は中身が大事で、町は管理をお願いするとお金がないからできないというが、全体として、住民を誘導する、住民が参加に誘導する話が抜けているところとして、理解して頂きたい。

議員：町側としては、公園愛護会のような団体を立ち上げるかもしれませんが、促進する予算も必要かもしれません。皆が自分たちの地域を守っていく施策を出していくことが大事。

参加者：具体的に、予算が必要である。峠公園は、廃止の対象になったところで、年に1万2千円の助成は有難い。資材やゴミ袋などを買ったりしている。10年ぐらいやっているが、錆付いてきている。公園と住民の関係の再構築が必要である。若い世代も参加できるように町も呼びかけて欲しい。

参加者：最初、町から1か所と言われたが、百合が丘に公園が4か所あり、4つをやったら大変で、現在も3つ・峠・桜・1丁目東やっている。最初の募集では15人集まったが、現在は10人でやっている。やはり、限界があり、あまり広げると続かない。最初は皆、協力してくれ、草刈機まで買ってやっていた。汗を出し、皆が喜んでくれるだろうとのおもいで行っていたが、今では、時間が来るとやめるので、全部やるのは難しい。必要性のバックアップを町がしてくれると、我々もやりやすい。

参加者：N027 富士見が丘児童館 富士見が丘は高齢率も高い中、現在は3時以降子どもが滑り台を利用しに来ている。駐車場としても使うが、1台しかない滑り台は、3時以降に子どもたちの唯一の遊具として、利用している。広場となり、コンクリートにすれば水たまりもできないが、子供が怪我をされるといけないので、一部のみコンクリートにしている。地盤問題で管理する大変さはあるが、子どもの遊園地が地域の認識。

部屋はゆめクラブなどで、ほとんど空きがないほど、利用率が高く、子どもは外で遊び、おじさんたちと子どもの良い風景がある。高齢化ではありますが、庭木の手入れもしてくれます。年2回地区で清掃も行っています。環境推進が中心となり、公園愛護会もきます。悩み多き、児童館廃止だとおもいます。

議員：建物は地区管理、公園は町管理、なので難しいところはありますが、地域で使えばよいこと。広場だと遊具はとるが、話し合いになります。

参加者：緑が丘の周辺環境整備をして欲しい。草がぼうぼうで、環境は良くない。

議員：管理がどこまで、何をどこまでやるのか不安を感じた。公園整備とともに、地域住民も関わって行くことは、必要で、方向性はご理解いただけたものと思えました。緑地緑道の管理は、これからと以前のもの管理の確認は致します。地域や団体がやる時の、促進策で今ある予算の中でよいから、どうなのか。任せたら終わりではなく、町も今後とともに、管理する考えを持っていないと難しい。不安があることは、町に言う。5年間の計画なので、これからも町に伝えていく。

【まとめ】

- ① 緑地・緑道へ変わった場合、従来からある緑地・緑道と管理の仕方が変わるのか（緑が丘古墳公園近くの土地は、再三要求して初めて草刈が実施されるが・・・）
- ② 地域・団体管理にする場合、町からの何らかの支援（金か物かは分からないが）、促進策が必要
- ③ 管理とはどのようなことを指すのかある程度示してほしい。地域・団体はここまで、町はこうする・・・など
- ④ （終了後）昨年、百合ヶ丘3丁目公園愛護会が発足されたが、その経過を共有できれば各地区参考になるのではないか（都市整備課とは話している）

【委員反省】

- ① 言葉として「管理」は重く感じる。手伝い、奉仕などの言葉としてはどうか
- ② 公園別の統廃合については近隣の人しか興味がわかず、また分からない様子であった地域に出向いた開催でも良かったか
- ③ 地域・団体管理への移行は、委員会として進捗を追う必要がある
- ④ 議会として結論をどこに置くのか。今後は地域の問題となるのではないか
- ⑤ 参加者が少なかった点は反省だが、全体の流れは良かった
- ⑥ チラシ掲示、募集の仕方は悪くなかった

以上



* 公園統廃合計画全体説明

* 廃止予定公園個別説明

